

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 69 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2024 年 12 月 5 日 (木) 10:30~12:00
2. 場所 カナデビア有明工場会議室及び Webex によるオンライン会議
3. 出席者 (順不同、敬称略)
(出席委員) 木倉 (主査)、浅見 (副主査)、白井 (幹事)、阿部、市橋、島、清水、高橋 (淳)、樋口、
松本 (務)、山根、亘 (12 名)
(代理出席委員) 岡田、大河内 (2 名)
(欠席委員) 海老原、渡邊 (2 名)
(出席常時参加者) 大岩、堂守、上良、広瀬、岡部 (4 名)
(欠席常時参加者) 石川、影山、高橋 (秀)、村松、渡辺 (6 名)
(オブザーバー) 阪本 (1 名)
4. 配布資料
F4SC69-1 第 68 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)
F4SC69-2-1 分科会関連人事整理表
F4SC69-2-2 人事について (分科会)
F4SC69-3-1 金属キャスク標準公衆審査結果(pub136_報告)
F4SC69-3-2 標準作成ガイドライン改定 (JIS Z 4001 廃止対応)
F4SC69-4 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業状況について
F4SC68-5 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 4 の作業状況について
F4SC69-6 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 3 の作業状況について
F4SC69-7 標準策定 5 か年計画の作成について (2025 年度版)

5. 議事

幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の2/3以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。

(1) 前回議事録確認

- ・ 前回議事録(案)として F4SC68-1 の確認が行われ、現地開催の場所の誤記を変更の上了承された。

(2) 人事について

- ・ 1 名の分科会委員(追加)が議決により選任された。

- ・ 1名の作業会3委員(追加)が、作業会3で正式手続きを実施することを条件に議決により承認された。
 - ・ 1名の分科会委員・作業会4幹事の所属変更が確認された。
- (3) 標準委員会/原子燃料サイクル専門部会の活動状況
- ・ 幹事より、F4SC69-3 シリーズに基づき、金属キャスク標準改定の公衆審査結果及びJISZ4001廃止に伴う対応について報告があった。
 - 公衆審査はコメントなく終了。
 - JISZ4001廃止に伴う「標準策定ガイドライン:2020」の対応については、以下の意見があり、学会事務局へ確認することになった。
 - ◇ 短期的な対応については、金属キャスク標準の今回の改定は対応不要。(確認済)
 - ◇ 中長期的対応である「標準委員会:20XX」の改訂時期、「一般的な原子力用語辞典」として原子力学会のHPに公開する時期はいつ頃か。
 - (確認結果)具体的な時期は決まっていない
- (4) 作業会1の作業状況について
- ・ 松本委員(作業会1主査)より、F4SC69-4に基づき、作業会1の作業状況について報告があった。
- (5) 作業会4の作業状況について
- ・ 清水委員(作業会4幹事)より、F4SC69-5に基づき、作業会4の作業状況について報告があった。
 - ・ 金属キャスク標準の改定については、公衆審査結果を受け、3月の標準委員会で制定するよう進めることが確認された。
- (6) 作業会3の作業状況について
- ・ 藤沢委員(作業会3主査)代理の岡田作業会3委員より、F4SC69-6に基づき、作業会3の作業状況及び改定必要項目のアンケートに対する対応について報告があり、以下のコメントを踏まえ、対応することになった。
 - システム全体像を米国での最新状況を踏まえて見直すことは重要であるが、論点を広げすぎることは、時間もかかり不効率であることを認識し、本標準改定でカバーする範囲を明確にすること。
 - 今回改定する範囲のコンクリートキャスク貯蔵システムの全体像を明確にすることは、作業手順上重要であることから、添付資料1の作業フローに盛り込むこと。
- (7) その他

- ① 標準策定5か年計画の作成について(2025年度版)
- 幹事より、F4SC69-7に基づき、標準策定5か年計画(2025年度版)の提出案について報告があり、以下の点を修正し、提出することが確認された。
 - ◇ 金属キャスク標準の改定の制定は、2025年3月となることを踏まえ、標準の年版、5年毎改定時期等を見直すこと。
- ② 今後の予定
- 次回幹事会 2025年3月6日(木) 午後
 - 次回分科会 2025年3月17日(月)午後

以 上